科目名		建	建築CAD設計製図演習Ⅲ													
科目名(英)																
単位数			2単位	立	時	間数	32	<b>诗間</b>	担当者		大坪 智					
実施年度		2	2019年	度	実施	<b>も時期</b>	後	期	実務家教員 担当科目	ı	0					
対象学科 - 学年		建乳	築学科	4(夜間	)2年					<u>'</u>						
授業概要		建	築設計	十で必要	要なソフトウェ	ェア(イラス	トレータ、フォ	-トショップ)の	基本的な操作	≅、運用						
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実習:	実	 技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 技能		態度 その他		•	•	目標	5							
		0							し、区別出来							
学習目標 (到達目標)		0	0				ウィンドウレィ  イヤー構造に		ル、ショートカ <sup>・</sup>	ツト)が出来る	)					
(2) Æ 🗆 (87)		0	0			• • •			⊔未る ─タの作成が	出来る						
		0	0		H	-3 1 O 11 A	42.0311.0112		2 - 11 /24/							
テキスト・教材 参考図書		オ!	ナリジナルテキスト 実際に仕事で使用したグラフィック、データ													
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示													
	1 イラストレータの基本操作:ウィンドウレイアウト、ツール、ショートカットの理解 ショートカットは手の形で覚える															
	2	イラス	プラストレータの基本操作:線、面のパス操作、レイヤー操作の理解 パス操作の完全な理解 パストレータの基本操作: ロゴ、名刺作成、文字入力、数値入力、フォント変													
	3				操作:ロゴ、名! ウトライン化	刺作成、文字	三入力、数値入力	]、フォント変								
	4	イラス	ペトレー!	タの基本	操作:ロゴ、名:	刺作成、装飾	5、仕上げ									
	5	フォト	ショップ	の基本	操作:ウィンドウ	レイアウト、	ツール、ショート	カットの理解								
	6	フォト	ショップ	の基本	操作:レイヤー	構造、レイヤ・	ーオプションの理	<b>L</b> 解	レイヤーオプショ	ンで色々遊んで	<b>ごみる</b>					
授業計画	7	フォトショップの基本操作:スマートオブジェクト、レイヤーマスクの理解														
	8	フォトショップの基本操作:写真合成 イラストレータデータとの連帯 全体まとめ														
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
			の提出 番基準				「記の観点・害 ↓上)・B(70点		る。 点以上)・D(5	9点以下)とす	ける。					
					Ī	語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
数体十分	_			題			0	0	0		70%					
評価方法	_			・作品			©	0	0		10%					
	$\vdash$		Щ	m <del>Ti</del>							10/0					
履修上の注意		出月	常回数	対が授	業回数の2/	′3に満た	ない場合は、	提出状況は	関係なく単位を	ら与えない						

科目名	3	建築C	AD	設言	†製図	演習	V							
科目名(英)														
単位数		4単	位		時	間数		60時間	担当者	,	小嶺 洋介			
実施年度		2019	年度		実施	時期		後期	実務家教 担当科目		0			
対象学科-学年	3	建築学科	(夜間	)2年	Ę					·				
授業概要		前期授業 3次元の記				ADソフトを	使った授	業を行う。 前其	引に修得したArc	hi CADの基ス	<b>体操作を基に、</b>			
授業形式	講	義:		演習:	0	実習:		実技:	※ 主7	たる方法:○	その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語報	知的 達動 技能         運動 技能           〇         〇           〇         〇           〇         〇	態度意欲	3E 課 プ	題図面の	既念の説明 3D作図か グを計画	明が出来る が出来る 可通りに進							
テキスト・教材 参考図書	7.	ナリジナル	レプリン	ノト										
	回数				授業	項目•内	容			授業外学修	指示			
	1	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・												
	2	3D作図	作業(	1)						が終了していなし まで進めておくこ				
	3	3D作図	作業(	2)					予定作業内容		<b>い場合は、次回事業</b>			
	4	3D作図 <sup>-</sup>	作業(	3)							· こ。 確認してもらうこと			
	5	3D作図·	作業(	4)						が終了していなし まで進めておくこ	\場合は、次回事業 ・と			
	6	3D作図 <sup>-</sup>	作業(	5)					予定作業内容	が終了していない まで進めておくこ	\場合は、次回事業			
	7	3D作図 <sup>-</sup>	作業(	6)							- <u>C。</u> 確認してもらうこと			
授業計画	8	3D作図			グ(1)			、場合は、次回事業						
	9	3D作図					予定作業内容		\場合は、次回事業					
	Ľ	3D作図					まで進めておくこ 況を担当教員に	と。 確認してもらうこと						
		3D作図									い場合は、次回事業			
		3D作図		-						まで進めておくこ が終了していない	と。 \場合は、次回事業			
		3D作図								まで進めておくこ 況を担当教員に	と。 確認してもらうこと			
		3D作図		-					予定作業内容	が終了していなし	・場合は、次回事業			
		まとめ	, , , ,		<i>&gt;</i> ( <i>i</i> )				が出来るところ	まで進めておくこ	۲٤.			
	提出		限・完	尼成度							により総合的に			
		+-	ப் <del>20</del> 6	5		語情報	知的技能		_	その他	評価割合			
評価方法			出課題		<del>-</del>		0	0	0		70%			
			は席率	足の)	, L				0		10%			
履修上の注意	Ł	出席が20	回に清	またな	い場合は	、課題の	提出が出る	たない。						

科目名	3	建多	を設	計劃	製図	演習	П									
科目名(英)	Α	rchit	ectur	al des	sign d	rafting <b>I</b>										
単位数			2単位	垃		時	間数	32	寺間	担当者	Ē	高野 繁幸				
実施年度		2	2019年	<b>F</b> 度		実施	時期	後	:期	実務家教員 担当科目						
対象学科·学年	Ž	建築学	<b>学科(</b> 7	夜間)	2年											
授業概要										∤の2課題)を迫 ■及びプレゼン		の動線計画 、照 行う。				
授業形式	講	義:	Δ	涯	寅習:	0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 技能	運動 類技能 類	態度意欲			•	·	目標							
		0		0	_				明計画を説明							
学習目標 (到達目標)		0		0					ゼンテーショ	ン出来る。 テーション出来	<u>ح</u>					
			-			フル市	יני פינטיני	ノエの設計で1	10.7062	<i>)</i> — <i>У</i>	്					
テキスト・教材 参考図書	7	トリジ	デリジナルプリント 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数					授業	項目・内容	容		=	受業外学修持	<b></b> 指示				
	1	店舗	店舗設計について/動線計画、配置計画 店舗(カフェ)に関する資料を集める													
	2				/訂	E明につい	ヽて、家具									
	3	1 課	題(ナ	カウン:	ターナ	フェの設	計)/課題	の説明		店舗(カフェ)						
	4						,	/平面図(1)	の作成			、課題を進める				
	5		/平面図(2)の作成 課題の進捗状況に応じて、課題を進 /傍瞼図の作成 進捗状況を指導教員に報告する													
	6						,	/傍瞰図の作	成	進捗状況を指	導教員に報	告する				
	7	/展開図の作成 課題の進捗状況に応じて、課題を進														
授業計画	8	/プレゼンテーション 進捗状況を指導教員に報告する														
	9	2 課	題(テ	テーブ	ル席	のあるカ	フェの設計	†)/課題の説	明	課題の進捗は	<b>状況に応じて</b>	、課題を進める				
	10						,	/平面図(1)	の作成	進捗状況を指	導教員に報	告する				
	11						,	/平面図(2)	の作成	課題の進捗も	<b>状況に応じて</b>	、課題を進める				
	12						,	/傍瞰図(1)(	の作成	課題の進捗も	<b>状況に応じて</b>	、課題を進める				
	13						,	/傍瞰図(2)(	の作成	進捗状況を指	導教員に報	告する				
	14						,	/展開図(1)	の作成	課題の進捗は	<b>状況に応じて</b>	、課題を進める				
	15						,	/展開図(2)(	の作成	課題の進捗も	†況に応じて	、課題を進める				
	16						,	/プレゼンテー	ーション	進捗状況を指	導教員に報	告する				
									·取りません) 70点以上)・C	(3)出席率 (60点以上)・[	)(59点以下)	)とする。				
						言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
==  == -				提出村				0		0		70%				
評価方法		1′		)完成 鹿葱	<b></b>			0	0	0		20%				
			山)	席率								10%				
	①提 ①ŧ	出図	画板 は②に	数がこどちに	全体( うか(	の枚数に に該当する	対して7害 る場合はi	川に満たないり 単位を与えな	い	回数が授業回		満たない場合				

科目名	建	建築計画IV Architectural planning and designIV													
科目名(英)	Arch	itect	ural	plannir	ng and des	ign <b>IV</b>									
単位数		2単	单位		時間	間数	3	0時間	担当者	ž	深野木 隆				
実施年度		2019	年度	Ę	実施	時期		 後期	実務家教員 担当科目	l	0				
対象学科·学年	建築	学科	【夜	間】2年											
授業概要	自分	なりに	社会	の変化	とともに建築	をが担うべ	き役割を考察	くし、社会のニー	ズに応えられる	公共施設の建	業計画を発表する				
授業形式	講義:	(	)	演習	<b>'</b> :	実習:	3	実技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 知的情報 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		l	I .	目標	世 元						
	0			1	5時代の代	表的な公	*共施設が	当時の社会にお	らいて担った役	割を説明で	きる				
学習目標	0							を説明できる							
(到達目標)	0		0	-	これからの名	t会二一:	ズをふまえ	た公共施設の	建築計画を提	案することが	できる				
テキスト・教材 参考図書	建築	建築計画       実教出版、オリジナルプリント         回数       授業項目・内容       授業外学修指示													
	回数														
	1 ガ・	イダン	ノス4	-1生活	圏とコミュミ	ミティ一施	<b>E</b> 設								
	2 4-2	2図書	館	図書館	官の変遷				教科書の該当範						
	3 4-2	2図書	館	公共图	図書館の役割		教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと						
	4 4-2	2図書	館	地域図	図書館の計	画、近代	建築史		教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	5 4-3	3美術	館	美術館	官の計画・各	室計画			教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	6 4-3	3美術	館	美術館	官の計画・各	教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと							
₩ # = L inc	7 4-4	4⊐ミ <i>:</i>	ı= <del>,</del>	テーセ:	ンター、公民	教科書の該当範 る。	囲を事前に読ん	んでおくこと 復習す							
授業計画	8 4-	5確認	テス	٠,					教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	9 5-1高齢社会と建築計画 5-2病院 病院の誕生 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
	10 5-2	2病院	病	院の訂	十画				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	11 5-2	2病院	各	室の記	十画				教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	12 5-	3高齢	者が	起設 居		室計画			教科書の該当範	囲を事前に読ん	んでおくこと				
	13 5-	3高齢	者旅	起設 居	居住施設∙各	室計画			教科書の該当範 ておく。	囲を事前に読ん	んでおくこと 復習し				
	14 5-	3確認	テス	۱۲						囲を事前に読ん	んでおくこと 復習し				
	15 総	括									んでおくこと 期末試				
	講義中	の課	題講	評プレ			_				的に評価する。				
		-4-	#n= '	· FA	言	語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
評価方法			期討	「験 ション	.,	0	0	0			60% 20%				
町巡刀海				ーショ ポート			0		0		20%				
		112 KZ	,								20%				
履修上の注意	先ず		ストを	きしった	いり読んで予	♂習∙復習	引することを	心がけ、学んた	ご分野の建築を	主実際に見学	することを推奨				

科目名	1	住月	居学	ź											
科目名(英)	F	Resid	dentia	al St	udies										
単位数			2単	.位		時	間数	32	時間	担当者		堀江 惠子			
実施年度			2019:	年度	Ę	実別	施時期	往	<b></b>	実務家教 担当科目		0			
対象学科・学年	3	建築	学科(	(夜間	間) 24	Į.									
授業概要			テリア 計画を					を理解する。 評価の時間で		浅に即した学習	習の機会と <sup>.</sup>	する為、各人が立			
授業形式	講	義:	Δ	7	演習:	0	実習:	実	!技:	※ 主 <i>t</i> :	<u>-</u> る方法:C	) その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他			•	目材	E .					
		0								リアテイスト」の	D説明がで	きる			
学習目標		0		0				ノニング」を実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
(到達目標)		0							とてることがて						
		0							立てることがっ						
= 4		0	0		誤	退作品0	ノレセン	アーンョンを	形にすること	いじざる					
テキスト・教材 参考図書	#	毎回オリジナル編集による配布物													
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示													
	1		住宅における「インテリア」の守備範囲。												
		「インテリアティストイメージ」について整理する。 配布された資料を整理する													
	2	「後追いプランニング」について実践。 イメージパースまたは展開図の作成(手描き 書籍を読んで短時間でまとめる													
		・中間簡易プレゼンテーション													
	3	/ カラーコーディネート、インテリアトレンド 書籍を読んで短時間でまとめる													
	4	4 ・デザインを形にする(2)課題:マンション設計変更 /照明計画、デザインワーク(平面計画) 書籍を読んで短時間でまとめる													
										書籍を読んで短	時間でまとめ	<b>3</b>			
	5	・デザインを形にする(3)課題:マンション設計変更 /デザインワーク(平面計画)、参考資料の検討 配布された資料を整理する													
	6	6													
授業計画		仕様の決定/内装計画・平面計画・プレゼンデータ作成書籍を読んで短時間でまとめる													
	7	プラ	シま	とめ	とプレも	ヹンデータ	作成			書籍を読んで短	時間でまとめ	<b>3</b>			
	8	プラ	;ボー	ドに	ン―ト) 5	完成 プレ	,ガンテー	ション、ディス	スカッション	プレゼンの準備					
	9	, ,	***		- 1/2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		<i>7</i>	(/) / / /	フレビンの <u>+</u>   -	l				
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15											_			
									ゲインワーク <i>。</i> 完成度)により		十画)を設定	2期限内に完成さ			
						1	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		i	計画は	遂行	状況			0				20%			
評価方法	作品	引(プ	゚レゼ:	ンデ	ータ) 完	成度		0	0			40%			
		プロ	レゼン	ノテ-	ーション			0	0	0		40%			
							<u> </u>								
												1			
履修上の注意		書籍 <sup>:</sup> ハ。	を読ん	<b>んで</b> :	短時間	でまとめる	る能力が必	必要となりまっ	す。しっかりと	文章を読んで	理解する事	を心がけてくださ			
	ľ	U													

科目名	3	建築班	睘埻	竟工	学Ⅱ										
科目名(英)	P	Architect	ural	Envii	ronmenta	l Engineerin	g II								
単位数		2	鱼位			時間数	30	)時間	担当者		中村 昇久				
実施年度		2019	年度	ŧ		実施時期		<b></b>	実務家教員 担当科目		0				
対象学科 - 学年	3	建築学科	(夜	間) 2	年										
授業概要								・心理的な知 <sub>.</sub> 対応出来るよ	見を整理・統合 うになる	らし、建築計画	画に役立て、				
授業形式	講	義: (	Э	演 <sup>2</sup>	習:	実習:	9	€技:	※ 主 <i>t</i> :	<u>-</u> る方法:○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他		'	'	目標	="						
	0				建築環境	竟工学(熱・浩	显気∙温熱∙者	『市・地球・音)	における関連	用語の要素	・基準値を説明で				
学習目標	0	0				竟工学に関連	重する数値を	各々の算式に	より算出する	ことができる					
(到達目標)	0				熱∙湿気	・温熱・都市	・地球・音が	与える影響を	説明できる						
	0	0					-		売み取ることか	<b>「できる</b>					
	0	0			建築環境			<b>題点を見出せる</b>	<u>ა</u>						
テキスト・教材 参考図書		建築環境 ナリジナル				市ヶ谷出	版								
	回数				括	受業項目•内	容			授業外学修	指示				
	1	熱の流	れ・熱	人貫泛	ti de la companya de										
	2														
	3	熱貫流の	の計	算(2	?)空気層	•熱貫流抵抗	π								
	4	熱貫流の	の計	算(3	)日射熱	取得•遮蔽係	系数 —————								
	5	建物全值	本の	熱特	性(総合	熱貫流)									
	6	省エネノ	レギー	一基	<b>集</b> ————										
授業計画	7	湿り空気	えと露	<b>客点</b> 温	直度			*** == += /\	o/===1 ./-						
汉末时四	8	湿り空気	. 曲	線図(	の読み方					回授業の該当部予習しておくこと					
	9	内部結論	露・タ	卜部糸	吉露および	<b>ゾ防止法</b>									
	10	温熱環均	竟6團	要素											
	11	温熱感	覚指	標											
	12	外界の領	気温	•湿原	度•風										
	13	都市環境	竟												
	14	音の性質	質·音	の質	単位・レベ	ル・聴感									
	15	騒音評値	西法	•基準	≛∙遮音										
	(1)5	它期試験	(筆:	記)を	実施する	。※60点以	ストの結果( 上取得する。 以上)・B(70g	と (2)授業の	中で小テスト 点以上)・D(59	を3回実施す 9点以下)とす	る。 <sup>-</sup> る。				
						言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
27 by 4.			期試			0	0				70%				
評価方法			ヽテス 出席≥	-		0	0		0		20% 10%				
			山市~	<del>**</del>							10%				
履修上の注意	Ŀ	出席が10	回に	満た	 :ない場合	は、定期試	験の受験資	恪を与えない。	,						

科目名	3	建築材料実験												
科目名(英)	L	aborat	ory te	st of	building mate	erials								
単位数		1	単位		時間	間数		32	担当者	:	黒木 文雄			
実施年度		20	19年月	吏	実施	時期		後期	実務家教員 担当科目	•	0			
対象学科・学年	3	建築学	斗(夜	間):	2年		•			•				
授業概要									的に確認する 度の関係を実験		る。			
授業形式	講	義:	Δ	演習	달:	実習:	0	実技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法:○	その他: △			
	言語 情報	知的 運	助 態度 能 意欲	その他			•	目	標					
		0	0		コンクリートの	の製作手	順を理解し	、コンクリート	を作れる。					
学習目標		0	0					材の性質を記						
(到達目標) 		0	0						-トの圧縮強度					
		0	0		鉄筋の引つ	長り強度	試験を行い	、鉄筋の引っ	張り強度を求め	ることが出す	そる。			
テキスト・教材 参考図書	7.	ナリジナ	゚ルプ	リント										
	回数				授業」	頁目·内容	———— 容			授業外学修	 指示			
	1	建築材	建築材料実験の概要と目的											
	2 コンクリートの打設準備(鉄筋加工) 鉄筋の加工手順を確認する													
	3	コンクリ	ノート	の打詞	殳(1)				コンクリートの機	機的性質につ	ハて予習する			
	4	コンクリ	ノート	の打割	殳(2)				コンクリートの機	機的性質につ	ハて予習する			
	5	セメン	- の強	度試	験用供試体化	作成概要	説明		セメントの性質し	こついて予習す	<u>გ</u>			
	6	セメン 日)	-の強	度試	験用供試体化	作成、コン	ノクリートの	)強度試験(7	コンクリートの強	食算定につい	て確認する			
	7	<b>-</b> /	ふる	い分f	ナ試験の概要				骨材の性質につ	いて確認する				
授業計画	8	骨材の	ふる	い分f	ナ試験、コンク	リートの	強度試験	(14日)	骨材の性質につ	いて確認する				
	9	鉄筋σ	引張	試験	の概要説明				鉄筋の機械的性	性質について予	習する			
	10	鉄筋σ	引張	試験.	、コンクリート	の強度詞	式験(21日	)	コンクリートの強	食算定につい	て確認する			
	11	コンク		の強原	<b></b>	)の概要	說明、強度	<b>E試験用試験</b>	コンクリートの強	食算定につい	て確認する			
	12			の強原	度試験(24日	1)			コンクリートの強	食算定につい	て確認する			
	13	鉄筋コン	クリー	ト短柱の	の破壊試験の概	要説明、鋭	共筋コンクリー	ト短柱の破壊試験	コンクリートの機	機的性質につ	ハて予習する			
	14	セメン	~の強	度試	<del></del> 験				セメントの性質し	こついて予習す	る			
	15	鉄筋コ	ンクリ	ノートき	配 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	<del></del>			梁の曲げ試験に	ついて予習す	3			
	16	アルミ	棒を月	用いた	たわみ実験				梁のたわみ計算	『の公式を確認	する			
	実習する		制作	手順0	)理解度・協	調性∙安全	全管理が出	出来ているか).	レポート、出席	率により総合	合的に判断・評定			
				L _'	言	語情報	知的技能	_		その他	評価割合			
評価方法			主習!				0	0	0		70%			
			レポ- 出席				0		0		10%			
			山师	<del>-1-</del>							10/0			
履修上の注意	Ŀ	出席が1	1回に	に満た	ない場合は、	単位を付	寸与しない。	0						

科目名	•	ランドスケープデザイン Landscape design													
科目名(英)	L	_andscap	e de	sign											
単位数		2萬	单位			時間数	32	時間	担当者	;	石原 達也				
実施年度		2019	年度	Ę	3	<b>実施時期</b>	í:	<b>发期</b>	実務家教 担当科目		0				
対象学科・学年	3	建築学科	(夜	間)	2年		I								
授業概要								ス、パーゴラな ほについて学え		のいて学ぶ。 ā	た、遊戯施設、				
授業形式	講		C	演	習:	実習:	美	技:	※ 主た	-る方法:○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他				目標	E .						
	0	0			10-11-1		いて説明出	来る。 i設の設置上の	7. 図音 占た部	明山並る					
学習目標 (到達目標)	0	0	0				、ヘハーフル チャーの提案		7 由 忌 忌 で 武	労ഥ木る。					
					<b>A</b> 12	• • • •	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
テキスト・教材 参考図書	7	オリジナ	ルプ!	ノント											
	回数				授	業項目·内容	容		授業外学修指示						
	1	一般外	構の <sup>.</sup>	ディ	テール(1)	ı			授業内容の復習を行うこと レポート提出 準備						
	2	2 一般外構のディテール(2) 授業内容の復習を行うこと レポート提出 準備									と レポート提出				
	3	遊戯施	設					授業の理解		[切に質問等をす					
	4	水景施	設					準備		と レポート提出					
	5	スポーツ	ソ施言	殳					授業内容の 準備	復習を行うこ	と レポート提出				
	6	備品・サ	イン	施設	(1)				ることレポー	ト提出準備	[切に質問等をす				
授業計画	7	備品・サ	イン	施設	(2)			準備		と レポート提出					
汉末时日	8	植栽							授業内容の 準備	復習を行うこ	と レポート提出				
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	理角	<b>弾度を確</b>	認しる	ます。	講義中の	)質問はいつ	つでも受付け	毎に各人のF 直接指導を行 食し、最終評価	い、講義内容	に対しての理	講義内容の 里解度を深める				
						言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
50 /m -b -b-		宿題			`	0	0		0		90%				
評価方法		E	出席፯	<b>平</b>					0		10%				
履修上の注意	ł	出席が10	)回に	満た	-ない場合	∖は単位を与	えない。								

科目名	ì	則量的	学多	€翟	1										
科目名(英)	S	Surveying	g Pra	ctice	)										
単位数		1直	単位		時間数	ţ		32時間	担当者		吉村 尚				
実施年度		201	9年月	支	実施時	期		後期	実務家教』 担当科目		0				
対象学科·学年	廷	建築学科	.(夜	間)2	年										
授業概要	2	級建築:	士試息	験に	対応できるレベル	レまでの	の測量技	術の習得を目	旨す						
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 実	€習:	0	実技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法∶○	その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 運動技能		その他	測量とはどうい 測量器具を使用 測量計算、図面	用する	ことができ		票						
テキスト・教材 参考図書	Ĭ	建築測量   産業図書   授業項目·内容   授業外学修指示													
	回数	177 #k-p-p-0 (# 37)													
	1	川里の似安													
	2	工事測	量の	器具											
	3	基本的	な測	量					授業内容の復習	習と次回授業範[	囲の予習				
	4	各種の	工事	測量	•				授業内容の復習	習と次回授業範	囲の予習				
	5	レベル(	の概	要と	実習				授業内容の復習	習と次回授業範	囲の予習				
	6	トランシ	ット(		 タルステーション	)測量	の概要と	 実習	授業内容の復習	習と次回授業範	囲の予習				
	7	"(実習	3)			授業内容の復習	習と次回授業範	囲の予習							
授業計画	8	二級建	築士	試験	出題問題、まと	授業内容の復習	3 3								
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	実習	習におけ	る各	授業	の到達度(技術(										
		ي.	期記	 + F全	言語	育報	知的技	能 運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法			がテン												
可叫刀从				ポート	· 0	)	0		0		40%				
			・レイ l量技				0	0			30%				
		課題作	-		面)		0	0			30%				
履修上の注意	ㅂ	出席が11	回に	ニ満た	ない場合は、単	位を付	付与しない	<b>\</b> <sub>0</sub>							

科目名	[	国家対策 I													
科目名(英)															
単位数		2耳	単位			時間数	30	時間	担当者	ተ	竹下 幸栄				
実施年度		2019	9年度	ŧ	<b>9</b>	<b>尾施時期</b>	í	<u></u> 後期	実務家教員 担当科目	ı	0				
対象学科·学年	Ĭ	建築学科	.(夜	間):	2年					•					
授業概要		!級建築= 哉の修得			策の問題:	集の問題演	習▪解説を通	し、建築計画	・建築環境工学	学に関する、	より専門的な知				
授業形式	講	義: (	0	演習	習: △	実習:	美	:技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他			•	目標	Ę						
	0	0			建築環境	工学(気候	、空気、熱、	光、音、色彩)	こ関する特徴、	、課題点を説	明出来る				
学習目標	0	0					、給水設備、 を説明出来る		備、電気・照明	l設備、消防・	防火設備)に				
(到達目標)	0	0							福祉施設)に関	関する特徴、	課題点を説明				
	0	0			日本·西	羊•近代建築	色それぞれの	代表建築とそ	の特徴・課題	点を説明出来	₹る				
テキスト・教材 参考図書	2	2級建築士試験(学科) 厳選問題集500+100 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数														
	1	気候、空	三気					その日の復習							
	2	7.0口の佐切しか口書業が四の7切													
	3	音、色彩	5												
	4	空気調	和設	備				その日の復習と							
	5	給水設	備					その日の復習と							
	6	排水•律	<b>f生</b> 認	设備			その日の復習と								
授業計画	7	電気・照	明部	设備							回講義範囲の予習				
I IAMI I	8	消防•防	5火部	设備			その日の復習と								
	9	省エネノ	レギー	一、住	宅建築	その日の復習と									
	10	商業施	設、ス	文化於	<b>拖設</b>				その日の復習と						
	11	教育施	設、图	医療•	福祉施設				その日の復習と						
	12	各部計i	画						その日の復習と						
	13	建築生	産、	<b>邹市</b> 言	十画				その日の復習と						
	14	建築史	概論						その日の復習と	次回講義範囲0	D予習 				
		まとめ													
	(2)抗 (3)宿	受業の中 <mark></mark> 宙題・レオ	で小 ドート	テス を数	トを3回実 回実施す	!施する。 る。以上を <sup>-</sup> )・A(80点じ	人上)•B(70点	割合で評価す	る。 点以上)・D(59	点以下)とす	<b>.</b> .				
			. 44n = 1	. πΔ		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法			期討 トテス			0	0		0		70%				
计侧力法				ポート		0	0		0		10%				
		111 121													
履修上の注意	Н	出席が10	)回(こ	満た	ない場合	は、定期試	験の受験資	各を与えない。							

科目名	[	国家	対角	₹Ⅱ										
科目名(英)														
単位数		2 <u>ì</u>	単位		時	間数	30₽	寺間	担当者	ተ	竹下 幸栄			
実施年度		201	9年度	ŧ	実施	<b>施時期</b>	後	期	実務家教員 担当科目	L	0			
対象学科•学年	3	建築学科	(夜	間)	2年									
授業概要	2	級建築:	土試馬	験対:	策の問題集	の問題演	習∙解説を通	し、建築法規	に関するより	専門的な知証	俄の修得を図る。			
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習:	実	 技:	※ 主た	る方法:○	その他:△			
	言語情報	知的 運動技能 技能	態度意欲	その他		L		目標	Į.					
	0	0							る問題が解け					
学習目標	0	0			できる						: 説明することか			
(到達目標)	0	0					建築法規の知 ことができる	]識(遵守す∕	*き法律基準・	規範等)を、	実務の具定例と			
テキスト・教材 参考図書	2	2級建築	士試	験(=	学科) 厳選	問題集500	0+100							
	回数	ADOM												
	1													
	2	問題演	習、解	解説	【確認申請	•建築手約		今回の復習と次[	回講義範囲の予	子習				
	3	問題演	習、角	解説	【面積・高さ	の算定】		今回の復習と次[	回講義範囲の予	5習				
	4	問題演	習、角	解説	【一般構造	]		今回の復習と次[	回講義範囲の予	子習				
	5	問題演	習、解	解説	【耐火•防火	<u>()</u>			今回の復習と次[	回講義範囲のう	5習			
	6	問題演	習、解	解説	【防火地域	•準防火地		今回の復習と次[	回講義範囲の予	5習				
1 1	7	問題演	習、解	解説	【防火区画	]			今回の復習と次[	回講義範囲のう	5習			
授業計画	8	問題演	習、角	解説	【避難施設	]			今回の復習と次に	回講義範囲のう	5習			
	9	問題演	習、角	解説	【内装制限	]			今回の復習と次に	回講義範囲のう	5習			
	10	問題演	習、解	解説	【構造計算	•構造強度	复】		今回の復習と次[	回講義範囲のう	5習			
	11	問題演	習、解	解説	【敷地等と	直路/用途	地域】		今回の復習と次に	回講義範囲の予	5習			
	12	問題演	習、解	解説	【建ぺい率	]			今回の復習と次に	回講義範囲の予	5習			
	13	問題演	習、解	解説	【容積率】				今回の復習と次[	回講義範囲の予	5習			
	14	問題演	習、解	解説	【高さ制限】				今回の復習と次に	回講義範囲の予	5習			
	15	まとめ							今回の復習					
	(2)护	受業の中	で小	テス	トを3回実施	<b>する。(</b>			」 点以上)・D(59	9点以下)と3	ける。			
					1	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
			期記			0	0		0		70%			
評価方法			トテス			0	0		0		20%			
		·	出席	<b>半</b>					0		10%			
履修上の注意	Н	出席が10	)回に	満た	 :ない場合は	、定期試	 験の受験資格	· Sを与えない。	)		ı			

科目名	[	国家試験対策Ⅲ National exam Ⅲ													
科目名(英)	N	lational e	exam	n III					_						
単位数		2	単位			時間数	30	時間	担当者		黒木 文雄				
実施年度		2019	9年度	隻		実施時期	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b></b>	実務家教員 担当科目	l	0				
対象学科・学年	3	建築学科	(夜	間)	2年										
授業概要	2	級建築士	上試!	験対	策問題集	の問題演習	習∙解説を通し	て、より専門的	りな構造力学の	の知識の修行	导を図る				
授業形式	講		Δ	演	習: (	) 実習:	: 実	技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能				を十試験に	出題される構造	目標告力学に関す		· ත					
学習目標	0	0	+	+	-						 ることができる				
(到達目標)	0	0	<del>                                     </del>	+							することかでさ				
					ລ										
テキスト・教材 参考図書	2	:級建築:	土試	.験(=	学科) 厳	選問題集5	00+100								
	回数	7.00.0433													
	1	问起, 一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日													
		問題演								–					
	3	問題演	習、	解説	【トラス】				その日の復習と						
					【断面の				その日の復習と						
					【応力度				その日の復習と						
					【座屈、				その日の復習と						
授業計画					【荷重・ダ			その日の復習と							
						├、木構造( <sup>·</sup> 	その日の復習と								
					【木構造		その日の復習と								
						ノート材料】 			その日の復習と	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
						ンクリート棒			その日の復習と						
						ンクリート構	<sup>真直(2)</sup> 】 ————		その日の復習と						
						·鋼構造] 			その日の復習と						
		市起海にまとめ	<b>a</b> 、	1年 百兀	【構造計										
	(1)员 (2)招 (3)宿	     関試験   受業の中   冒題・レオ	で小 ポート	ト トを数	トを3回写 回実施す	実施する。 「る。以上を	以上取得するこ で記の観点・ 以上)・B(70点	割合で評価す		3点以下)とす	たる。				
	_					言語情報		運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法	_		選期記				© O		0		20%				
計仙刀法				ポート			0				20/0				
			<u></u> 表•作	-											
履修上の注意	ㅂ	出席が10	<u>—</u> )回に	<u></u> - こ満た	<u>-</u> ない場合		式験の受験資材	    各を与えない。							

科目名	[	国家対策Ⅳ													
科目名(英)															
単位数		2単	単位		時間数				時間	担当者	Ī	高野 繁幸			
実施年度		2019	9年度	ŧ	実施時期 後期					実務家教員 担当科目	·	0			
対象学科・学年	<b>3</b>	建築学科	(夜	間)	<del></del> 2年										
授業概要	l	二級建築士試験の過去問題の問題演習・解答解説を通して、建築施工に関するより専門的な知識の修得を 図る													
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: (	С	実習:	実	 技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
学習目標	言語情報	加的   連動   態度   性の他   目標   日標   日標   日標   日標   日標   日標   日報   日報													
(到達目標)	0	0			問題演習により得た知識を、施工実務の具定例と結び付けて説明することができる										
テキスト・教材 参考図書	2	2級建築士試験(学科) 厳選問題集500+100													
	回数				<u></u>	受業項	授業外学修指示								
	1	問題演	習、角	解説	【契約/	施工	計画】								
	2	問題演	習、角	解説	【管理計	†画】		授業内容の理解度に応じて復習を行うこと 授業内容の理解度に応じて復習を行うこと							
	3	問題演	習、角	解説	【仮設計	画]									
	4	問題演	習、角	解説_	【地盤/	土工			<b>対況の確認を行うこと</b>						
	5	問題演	習、角	解説_	【鉄筋コ	「事】		授業内容の理解	程度に応じて復習 である。	冒を行うこと					
	6	問題演	習、角	解説	【型枠コ	「事】		授業内容の理解	程度に応じて復習 である。	『を行うこと					
   授業計画	7	問題演	習、角	解説	【コンク	リート	·工事】	授業終了範囲の	)内容で、理解状	け沢の確認を行うこと					
10000000000000000000000000000000000000	8	問題演	習、角	解説	【鉄骨コ	事】		授業内容の理解	<b>建に応じて復習</b>	を行うこと					
	9	問題演	習、角	解説	【木工事	<b>≨</b> ]	授業内容の理解	<b>建度に応じて復習</b>	を行うこと						
	10	問題演	習、角	解説	【防水コ	事/	左官工事	授業終了範囲の	)内容で、理解り	<b>、沢の確認を行うこと</b>					
	11	問題演	習、解	解説	【タイル	工事	/石工事	授業内容の理解	程度に応じて復習 かんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	冒を行うこと					
	12	問題演	習、角	解説	【塗装コ	事/3	建具・ガ <sup>.</sup>	授業内容の理解度に応じて復習を行うこと							
	13	問題演	習、角	解説	【内装】	事/词	授業終了範囲の内容で、理解状況の確認を行うこと								
	14	問題演	習、角	解説	【設備コ	事】	授業内容の理解度に応じて復習を行うこと								
	15	15 問題演習、解説 【各部工事総合】 授業内容の理解度に応じて復習を行うこと													
	(2)打 (3)宿	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60点以上取得すること (2)授業の中で小テストを3回実施する。 (3)宿題・レポートを数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
			. <del></del>	b.E.A.		言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法			期詞    \テス		0			0				50% 20%			
計仙力法			-					0				20%			
			席回	-						0		10%			
履修上の注意	ㅂ	出席が10	回に	:満た	:ない場合	合は、	定期試	験の受験資料	各を与えない。	•					

科目名	国家試験対策製図 I														
科目名(英)	National exam Drawing I														
単位数	4単位					時間	<b>時間数</b> 60時間			間	担当者	:	黒木 文雄		
実施年度	2019年度					実施	実施時期 後期			1	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	建築学科(夜間) 2年														
授業概要	=	二級建築士試験の製図試験に関する対策授業。木造、鉄筋コンクリート構造の製図の書き方を学ぶ。													
授業形式	講義: 演習: 〇 実習: 実技:										※ 主 <i>t</i> :	る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度 能 意欲	その他											
		0 0			不道建物の正確な作図(平面図、炉計図、立面図、床状図、小屋状図、断面図)かできる。							到面图/20.00			
学習目標		0 0				鉄筋コンクリート建物の正確な作図 (平面図、炬計図、立面図、床伏図、小屋伏図、断面図)ができる。									
(到達目標)   															
テキスト・教材 参考図書	7	オリジナルプリント													
	回数 授業項目・内容										授業外学修指示				
	1 2	設計製	超計	験の	概要	、平面図									
	3	第1課	題(木	造	1, 2	階平面図		木造平面図の描き方の確認							
	5	笋1鋰	題 (1	つ階	也不	·题)	課題が遅れてし	る場合には課	題を進める						
	7	7										る場合には課	題を進める		
	8	8   矩計図の描さかた										課題の進捗状況を担当教員に報告する			
	10	9 第1課題(矩計図)													
	11 12	立面区	の描	きか	た、第	有1課題	課題が遅れてし	る場合には課	題を進める						
	13	床伏区	]、小	屋伏	 図の打	苗きかた	課題が遅れてし	る場合には課	題を進める						
授業計画	15 16	第1課	題(床	伏区	3、小	屋伏図)	課題の進捗状況を担当教員に報告する								
	17 18	断面区	の描	きか	た、第	第1課題	(断面図)	課題が遅れてし	る場合には課	題を進める					
	19 20	第2課	題(木	造)	配	置図兼	1階平面[	課題が遅れている場合には課題を進める							
	21	第2課	題(木	造)	矩	計図のイ	作図	課題の進捗状況を担当教員に報告する							
	23 24	第2課	題(木	造)	立	面図、月	₹伏図・小	課題が遅れている場合には課題を進める							
	25 26	第3課	題(R	C造	RC	図面の打		課題が遅れている場合には課題を進める							
	27	27 第3課題(RC造) 配置図兼1階平面図、2階平面図、立面図の										課題の進捗状況を担当教員に報告する			
	29	建4镁阀作以( 水痘)   哈食以来   哈平间以 / 哈平间以()/作以											題を進める		
	30   第4課題作図(不造) 配直図兼1階平面図、2階平面図の作図   (1)課題提出枚数(2)課題作品の完成度(3)出席率 に関して以下の通りの基準で評価する (1)S評価:すべての課題を提出 A評価:提出枚数が9割以上 B評価;8割以上 C評価:7割以上 D評価:7割未満												以上 D評価:7		
						言	語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
			の提					0			0		70%		
評価方法			品の完	_	支			0		0			20%		
			出席	<del>T'</del>							0		10%		
										<u></u>					
	①提出図面枚数が全体の枚数に対して7割に満たない場合 ②出席回数が授業回数の2/3に満たない場合												に満たない場合		

科目名	国家試験対策製図Ⅱ													
科目名(英)	National exam Drawing II													
単位数		4単	单位		時間	間数	60	時間	担当者	Ę	黒木 文雄			
実施年度		2019	年度	ŧ	実施	時期	往	·····································	実務家教員 担当科目	1	0			
対象学科・学年	3	建築学科	(夜	間) 2	<del></del> 年									
	<del> </del>													
授業概要		二級建築士試験の製図試験を視野に木造課題、鉄筋コンクリート課題のエスキスの進め方を学び、技術の 習熟を図る。												
授業形式	講	義: ∠	Δ	演習	l: O	実習:	実	技:	※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度 意欲	その他	目標									
	0	0		-					らに説明できる					
学習目標		0 0	0						せることができ					
(到達目標)	0	0				Sコンクリート造課題のエスキスの進め方を注意事項とともに説明できる。								
	L	○ ○ ○ 鉄筋コンクリート造課題のエスキスを、制限時間内に完成させることができ												
	_													
テキスト・教材 参考図書	7	オリジナルプリント												
	回数				授業	項目·内容	容		授業外学修指示					
	1 2	エスキス	くの辻	進め方	(木造)の説	朔								
	3	エスキス	く課是	 组1(木	:造)	木造建物のエスキスの進め方を確認								
	5	エスキス	 く課是	 <b>須2</b> (木		課題が遅れてい	る場合には課題	夏を進める						
	<u>6</u> 7	エスキス	く課品	 題3(木	 :浩)	課題が遅れてい	る場合には課題	夏を進める						
	<u>8</u> 9	エスキス				課題の進捗状況	紀を担当教員に幸	服告する						
	10 11					課題が遅れてい	る場合には課題	頭を進める						
	12 13	課題4(				課題が遅れてい	る場合には課題	<b>重を進める</b>						
授業計画	14 15	課題4(							課題の進捗状況					
	16				(RC造)の									
	17 18	課題5(F	RCi	告)エス	くキス	課題が遅れている場合には課題を進める 課題が遅れている場合には課題を進める								
	19	課題5(F	RCi	告)作図	<b>∑</b>	課題が遅れてい	る場合には課題	夏を進める こうしゅう						
	20 21 22	課題5(F	RCi	告)作区	<u> </u>	課題の進捗状況を担当教員に報告する								
	22 23	課題6(	木造	)エス	 キス		課題が遅れている場合には課題を進める							
	24 25	課題6(:	木造			課題が遅れている場合には課題を進める								
	26 27	課題6(:				課題の進捗状況を担当教員に報告する								
	29	計画の野				課題が遅れている場合には課題を進める								
	30	]				h			Last (a) He see	IB-II- I-	<b></b>			
	(1)複数の課題提出を行う。(2)課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。 (3)期限内に提出すること。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		課	題提	出		0	0		0		30%			
評価方法		課	題作	品			0	0			60%			
		提	出状	:況			0		0		10%			
	<u> </u>													
	<u> </u>													
履修上の注意	l E	出席が20	回に	満たな	い場合は、	単位を記	認めない。							